

早田光佑：日本のファクトチェック団体の 資金調達方式に関する考察

要約

近年日本ではフェイクニュースや誤情報など「疑義言説」による様々な問題が発生し、社会的関心を集めている。疑義言説の問題を解決するために重要な役割を負っているのが、ファクトチェックとそれを行うファクトチェック団体である。ネット上で大量に流通する疑義言説に対抗するためには、ファクトチェック団体の活動規模拡大が必要であり、そのための資金調達が必要となる。日本社会におけるこのファクトチェック団体の活動規模拡大と継続的活動へのヒントを導き出すために、NPO団体の資金調達に関する過去の研究や当事者へのインタビューで得た情報を基に考察し、理想的な資金調達方式に関する考察と提案を行った。

ファクトチェック団体の資金調達に重要な要素として「中立性」がある。これは、資金提供者等の影響を受け、ファクトチェックの結果が左右されることを防ぐためである。また、継続的活動を目指すために「安定性」も重要である。

これらを踏まえ本論文で考察した結果、ファクトチェック団体の資金調達方式で特に重要なのは「中立性」であり、教育等の資金調達方法がさらに活用されるべきだとの結論に至った。